

甲斐市立竜王北中学校 自己評価書（前期・後期）

平成27年2月20日（金）作成

校長 深沢 勝彦

記述者 職名 教頭 小林 大

学校教育目標 「豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる生徒の育成」

学校経営方針

- （１）わかる授業の展開
- （２）個性を伸ばす教育の推進
- （３）豊かな人間性の育成
- （４）体力向上に励み、健康安全に心がける生徒の育成
- （５）愛情と信頼に基づく生徒指導の充実
- （６）意欲と熱意あふれる教師

1 全体評価

○ 肯定的な回答（Ａそう思う Ｂややそう思う の合計）がほぼ全項目で85%を超え、教職員が高い意識で教育活動に取り組んでいる。

85%を超えなかった項目は、

- ・Ⅲ④「個に応じた指導を行っている」（84.2%）
- ・Ⅲ⑤「評価規準と評価方法を明確にした授業を行っている」（84.2%）
- ・Ⅲ⑥「教材用具や備品を活用した授業を行っている」（78.9%）
- ・Ⅴ①「地域の人材や施設を活用、地域の教育力を生かす指導」（59.0%）
- ・Ⅴ②「学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報収集する」（75.0%）

の5項目である。

○ 市全体の職員の評価結果とほぼ同じ傾向を示しているが、肯定的な回答で5ポイントの差があった項目が3項目である。

市全体の回答と5以上ポイントの差があった項目は、

- ◎Ⅰ⑥「P→D→C→Aサイクルを生かした教育活動」（本校 100% 市 94.5%）
- ◎Ⅱ⑤「職員会議への積極的な関わり」（本校 100% 市 93.8%）
- ◎Ⅴ⑦「保護者の学習指導や生活指導との関わり」（本校 96.2% 市 90.6%）
- Ⅲ④「個に配慮した授業」（本校 84.2% 市 93.4%）
- Ⅲ⑤「評価規準と評価方法を明確にした授業を行っている」（本校 84.2% 市 97.8%）
- Ⅲ⑥「教材教具や備品等を活用した授業」（本校 78.9% 市 90.4%）
- Ⅴ①「地域の人材、施設の活用」（本校 59.0% 市 74.5%）
- Ⅴ②「保護者や地域の要望を聞く機会の設定、情報収集」（本校 75.0% 市 80.5%）

○ 本校のオリジナル項目としている「学校行事に進んで取り組むような指導」「生徒が発表活動に主体的に取り組むような指導」について肯定的な回答は100%であり、高い意識で教育活動に取り組んでいる。

○ 創甲斐教育推進大綱の目標となる指標として示された項目については、次の通りである。

- ・「宿題の他にも家庭学習（塾や家庭教師を除く）をしていますか。」H26年度目標値 70%
この項目が直接設けられていないので、次の項目を参考にする。

「家で、平日一日あたりどのくらいの時間勉強しますか」

「全くしない」の回答 今回 4.8% （前期 5.9%）

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
13	家で、平日一日あたりの どのくらいの時間、勉強 をしますか。（塾を除く）	全校	21.0	34.9	56.0	27.4	9.5
		市全体	14.5	34.4	48.9	29.0	9.9
		1 年	16.5	35.4	51.9	32.9	7.6
		2 年	11.4	43.0	54.4	31.6	10.1
		3 年	33.3	28.0	61.3	18.3	10.8
	（下段は、E、F 率。 F が全くしない。）	全校	2.4	4.8			
		市全体	3.4	8.9			
		1 年	2.5	5.1			
		2 年	3.8	0.0			
		3 年	1.1	8.6			

・「将来の夢や目標を持っている」

H26 年度目標値 80% 今回 72.1%（前期 74.1%）

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
20	将来の夢や目標を持 っていますか。	全校	37.8	34.3	72.1	19.5	8.4
		市全体	37.9	35.3	73.2	18.2	8.6
		1 年	51.9	32.9	84.8	10.1	5.1
		2 年	39.2	27.8	67.0	20.3	12.7
		3 年	25.0	41.3	66.3	26.1	7.6
		前期全校	42.4	31.8	74.1	16.1	9.8
		前期市全体	42.3	32.6	74.9	17.6	7.5
		前期 1 年	66.3	28.8	95.0	2.5	2.5
		前期 2 年	39.5	28.4	67.9	14.8	17.3
		前期 3 年	24.5	37.2	61.7	28.7	9.6

・「学校のきまりや約束ごとが守れていますか」

H26 年度目標値 90% 今回 97.2%（前期 96.9%）

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
21	学校のきまりや約束 ごとが守れています か。	全校	50.2	47.0	97.2	2.8	0.0
		市全体	38.2	54.9	93.1	5.8	1.1
		1 年	54.4	43.0	97.5	2.5	0.0
		2 年	51.3	46.2	97.4	2.6	0.0
		3 年	45.1	51.6	96.7	3.3	0.0
		前期全校	55.3	41.6	96.9	2.0	1.2
		前期市全体	41.6	52.8	94.4	4.9	0.7
		前期 1 年	62.5	37.5	100.0	0.0	0.0
		前期 2 年	54.3	42.0	96.3	1.2	2.5
		前期 3 年	50.0	44.7	94.7	4.3	1.1

・「人が困っているときは、進んで助けている。」

H26 年度目標値 90% 今回 90.0% (前期 92.1%)

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
4	人が困っているときは、進んで助けていますか。	全校	36.7	53.4	<u>90.0</u>	8.4	1.6
		市全体	27.7	59.1	86.8	11.7	1.4
		1 年	41.8	50.6	92.4	5.1	2.5
		2 年	44.9	41.0	85.9	12.8	1.3
		3 年	24.7	66.7	91.4	7.5	1.1
		前期全校	37.8	54.3	<u>92.1</u>	6.7	1.2
		前期市全体	30.2	57.2	87.4	11.3	1.3
		前期 1 年	36.7	55.7	92.4	6.3	1.3
		前期 2 年	44.4	48.1	92.6	6.2	1.2
		前期 3 年	33.0	58.5	91.5	7.4	1.1

・「家や図書館で、平日、一日あたりどれぐらいの時間読書をしますか。」

「30 分以上の回答」が H26 年度目標値 40% 今回 31.1% (前期 39.8%)

	質問内容		A 率	B 率	C 率	A+B+C	D 率
19	家や図書館で、平日一日あたりどれぐらいの時間、読書をしますか。 A 2 時間以上 B 1 時間以上 2 時間 C 30 分以上 1 時間 D 10 分以上 30 分	全校	3.6	7.6	19.9	<u>31.1</u>	25.9
		市全体	5.4	8.1	21.1	34.6	24.6
		1 年	2.5	8.9	24.1	35.4	22.8
		2 年	2.6	7.7	17.9	28.2	28.2
		3 年	5.4	6.5	18.3	30.1	25.8
		前期全校	6.3	10.6	22.8	<u>39.7</u>	27.2
		前期市全体	5.8	9.9	25.4	41.1	26.7
		前期 1 年	3.8	13.8	22.5	40.0	26.3
		前期 2 年	8.6	6.2	29.6	44.4	25.9
		前期 3 年	6.5	11.8	17.2	35.5	29.0
	(下段は、E, F) E 10 分より少ない F 全くしない	全校	9.6	33.5			
		市全体	9.9	30.9			
		1 年	11.4	30.4			
		2 年	14.1	29.5			
		3 年	4.3	39.8			
		前期全校	12.6	20.5			
		前期市全体	10.7	21.5			
		前期 1 年	18.8	15.0			
		前期 2 年	3.7	25.9			
		前期 3 年	15.1	20.4			

・「朝食を食べていますか」

H26 年度目標値 93% 今回 96.8% (前期 96.0%)

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
17	朝ごはんを食べて登校していますか。	全校	88.4	8.4	<u>96.8</u>	1.6	1.6
		市全体	81.9	10.9	92.9	4.7	2.4
		1 年	93.7	3.8	97.4	1.3	1.3
		2 年	78.2	14.1	92.4	3.8	3.8
		3 年	92.5	7.5	100.0	0.0	0.0
		前期全校	86.5	9.5	<u>96.0</u>	2.4	1.6
		前期市全体	83.1	10.0	93.1	4.8	2.1
		前期 1 年	88.6	10.1	98.7	0.0	1.3
		前期 2 年	78.8	16.3	95.0	2.5	2.5
		前期 3 年	91.4	3.2	94.6	4.3	1.1

以上のように、「将来の夢や目標を持っている」「家庭での読書時間」を除き、H26 年度目標値をクリアできている。

2 項目ごとの評価結果（達成状況・改善策）

I 学校教育目標に関して・学校経営について

- 全 7 項目のうち 6 項目で、肯定的な回答が 100%となっている。
- P D C A サイクルについての取組や利用した教育活動が、後期評価で 100%となり、改善が図られた。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
5	あなたの学校は、P→D→C→A サイクルで、教育活動が取り組まれている。	後期本校	70.4	29.6	<u>100</u>	0.0	0.0
		後期市	55.5	41.5	97.0	3.0	0.0
		前期本校	60.7	35.7	<u>96.4</u>	3.6	0.0
		前期市	55.8	37.4	93.3	6.7	0.0

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
6	あなたは、P→D→C→A サイクルを生かした教育活動を行っている。	後期本校	63.0	37.0	<u>100</u>	0.0	0.0
		後期市	46.3	48.2	94.5	4.9	0.6
		前期本校	60.7	32.1	<u>92.9</u>	7.1	0.0
		前期市	47.9	47.2	95.1	4.9	0.0

達成状況

	○ 「職場の福利厚生や健康管理への配慮」についての、肯定的な回答(88.5%)が前期(89.3%) からやや下がったが、市の平均(88.2%)を上回っている。							
	番号	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
	7	あなたの学校は、職場の福利厚生や健康管理について配慮がなされている。	後期本校	50.0	38.5	<u>88.5</u>	11.5	0.0
			後期市	47.8	40.4	<u>88.2</u>	10.6	1.2
			前期本校	57.1	32.1	<u>89.3</u>	7.1	3.6
			前期市	47.6	42.1	89.7	8.5	1.8
改善策	○ PDCAサイクルについての職員の意識は向上しているが、どのようなことが、PDCAサイクルの機能なのかなど、さらなる意識の改革が必要である。何のための評価であり、それが改善方法につながる検討を進めて、日常の教育活動で活用を進めたい。特に、P（プラン）での全職員での共通理解と、C（チェック）での評価方法を確認しながら確実な改善となるA（アクション）につなげたい。							
	○ 職場の福利厚生や健康管理については、互いの声を掛け合って今後とも明るい職場としていきたい。職員間での共通理解となるよう、今回の自己評価書を役立てたい。							
Ⅱ 学校運営について								
達成状況	○ 全項目で肯定的な回答が 92%を超えた水準にある。							
	○ 「施設設備の定期的な点検」において、前期に続き、市全体より肯定的な意識が強い。							
		質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
	1	あなたは、校舎内外の施設設備を定期的に点検し、結果を的確に処理・報告(整備・保全)している。	後期本校	53.8	42.3	<u>96.2</u>	3.8	0.0
			後期市	59.6	35.4	<u>95.0</u>	5.0	0.0
			前期本校	42.9	53.6	96.4	3.6	0.0
			前期市	56.8	38.3	95.1	4.9	0.0
	○ 「個人情報保護・情報セキュリティによる管理活用」において、前期も後期も市全体より意識が低く、改善の余地がある。ただ「校務分掌の学校運営上の機能」においては、後期に 100%（前期 96.3%）となり、改善がみられている。							
		質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
	3	あなたは、個人情報保護・情報セキュリティの観点から、諸表簿や文書、記憶媒体を適切に管理・活用している。	後期本校	74.1	22.2	<u>96.3</u>	3.7	0.0
			後期市	69.7	29.7	99.4	0.6	0.0
			前期本校	60.7	35.7	96.4	3.6	0.0
			前期市	60.7	38.7	99.4	0.6	0.0

	4	あなたの校務分掌は、学校運営上、機能している。	後期本校	68.0	32.0	<u>100.0</u>	0.0	0.0
			後期市	53.8	43.8	97.5	2.5	0.0
			前期本校	59.3	37.0	<u>96.3</u>	3.7	0.0
			前期市	50.9	46.6	97.5	2.5	0.0
			○「校内研究（研修）への主体的な関わり」が高い意識で行われている。					
	8	あなたは、校内研究（研修）に主体的に関わっている。	後期本校	50.0	46.2	<u>96.2</u>	3.8	0.0
			後期市	46.9	45.1	92.0	6.2	1.9
			前期本校	48.1	48.1	<u>96.3</u>	3.7	0.0
			前期市	45.3	44.7	90.0	8.1	1.9
			改善策	○ 職員会議で設備管理、情報管理についての再確認を行い、実行する意識の向上を図る。そのための組織づくりをすぐに行い、実行に移す。				
○ 今後も、教職員評価とも関連を図り、学校組織の活性化を図る。特に、管理職との相談を密にし、組織としての機能が発揮できるよう体制づくりを進める。								
○ 甲斐市の研究指定校としての職員の自覚を高め、実りのある研究を推進できるよう実践を進める。自らの資質向上を高めようとする意識改革を図り、より主体的に研究に参加するよう研究組織、研究内容の充実を図る。来年度を見越した研究のまとめを行う。								
Ⅲ 学習指導について（児童生徒用アンケートも含めて）								
達成状況	4	あなたは、個に配慮した授業を行っている。	後期本校	36.8	47.4	<u>84.2</u>	15.8	0.0
			後期市	45.3	48.2	<u>93.4</u>	5.8	0.7
			前期本校	39.1	56.5	<u>95.7</u>	4.3	0.0
			前期市	44.3	48.6	92.9	7.1	0.0

- 評価規準と評価方法を明確にした授業づくりについては、市全体より 13.6 ポイント低い。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
5	あなたは、評価規準と評価方法を明確にした授業を行っている。	後期本校	42.1	42.1	<u>84.2</u>	15.8	0.0
		後期市	47.1	50.7	<u>97.8</u>	2.2	0.0
		前期本校	52.4	38.1	<u>90.5</u>	9.5	0.0
		前期市	50.0	47.1	97.1	2.9	0.0

- 「教材教具や備品等を活用した授業」において市全体より 11.5 ポイント低かった。また、「家庭学習に対する指導」の意識は若干弱かったが、後期に改善がみられた。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
6	あなたは、教材教具や備品等を活用した授業を行っている。	後期本校	42.1	36.8	<u>78.9</u>	21.1	0.0
		後期市	45.6	44.9	<u>90.4</u>	9.6	0.0
		前期本校	47.6	42.9	90.5	9.5	0.0
		前期市	47.1	44.2	91.3	8.0	0.7

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
8	あなたは、宿題や家庭学習に対する指導を行っている。	後期本校	50.0	40.0	<u>90.0</u>	5.0	5.0
		後期市	42.3	48.9	<u>91.2</u>	8.0	0.7
		前期本校	40.9	45.5	<u>86.4</u>	4.5	9.1
		前期市	42.8	44.9	87.7	9.4	2.9

(児童生徒用アンケートから)

○ 家庭学習（塾や家庭教師を除く）の状況

家庭学習時間は、1時間以上学習する生徒の割合が、55.9%（前期 38.8%）で 17.1 ポイント伸びている。特に 2 時間以上学習する生徒の割合が、1 年が 16.5%（前期 8.8%）で 7.7 ポイント、3 年が 33.3%（前期 9.6%）で 23.7 ポイント伸びている。

質問内容			A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
13	家で、平日一日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。 (塾を除く) A 2時間以上 B 1時間以上2時間 C 30分以上1時間 D 10分以上30分 (下段は、E、F) E 10分より少ない F 全くしない	全校	21.0	34.9	55.9	27.4	9.5
		市全体	14.5	34.4	48.9	29.0	9.9
		1年	16.5	35.4	51.9	32.9	7.6
		2年	11.4	43.0	54.4	31.6	10.1
		3年	33.3	28.0	61.3	18.3	10.8
		前期全校	9.8	29.0	38.8	34.5	15.7
		前期市全体	6.9	32.0	38.9	35.4	13.1
		前期1年	8.8	30.0	38.8	37.5	12.5
		前期2年	11.1	32.1	43.2	30.9	13.6
		前期3年	9.6	25.5	35.1	35.1	20.2
		全校	2.4	4.8			
		市全体	3.4	8.9			
		1年	2.5	5.1			
		2年	3.8	0.0			
		3年	1.1	8.6			
		前期全校	5.1	5.9			
		前期市全体	4.0	8.6			
		前期1年	6.3	5.0			
		前期2年	7.4	4.9			
		前期3年	2.1	7.4			

○ 「学校が楽しい」と感じる生徒の肯定的な割合は、91.2%(前期 91.0%)であり、市全体 (89.8%) より 1.4 ポイント高い。2 年生でその割合が、97.5%(前期 92.6%)に増えた。

○ 「学校の授業が楽しい」の同割合は、84.1%（前期 83.9%）であり、市全体（77.5%）より 6.6 ポイント高い。

質問内容			A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
1	学校が楽しいですか。	全校	55.0	36.3	91.2	6.8	2.0
		市全体	48.8	41.0	89.8	7.4	2.8
		1年	58.2	32.9	91.1	6.3	2.5
		2年	63.3	34.2	97.5	1.3	1.3
		3年	44.6	41.3	85.9	12.0	2.2
		前期全校	52.9	38.0	91.0	7.8	1.2
		前期市全体	48.3	42.6	90.9	6.7	2.4
		前期1年	61.3	32.5	93.8	6.3	0.0
		前期2年	61.7	30.9	92.6	4.9	2.5
		前期3年	38.3	48.9	87.2	11.7	1.1

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
5	学校の授業が楽しいですか。	全校	26.6	57.5	<u>84.1</u>	11.9	4.0
		市全体	20.9	56.6	<u>77.5</u>	17.8	4.7
		1 年	27.8	57.0	84.8	10.1	5.1
		2 年	41.8	50.6	92.4	3.8	3.8
		3 年	11.8	64.5	76.3	20.4	3.2
		前期全校	27.5	56.5	<u>83.9</u>	13.3	2.7
		前期市全体	23.4	55.8	79.2	17.0	3.8
		前期 1 年	41.3	48.8	90.0	6.3	3.8
		前期 2 年	37.0	53.1	90.1	7.4	2.5
		前期 3 年	7.4	66.0	73.4	24.5	2.1

○「先生はわかりやすく勉強を教えてくださいか」に対して肯定的な割合は、98.0%（市全体 95.8%）である。特に、1 年生では、100%（前期 98.7%）と向上している。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
6	先生はわかりやすく勉強を教えてくださいか。	全校	52.8	45.2	<u>98.0</u>	2.0	0.0
		市全体	39.7	56.0	<u>95.8</u>	3.2	1.0
		1 年	62.0	38.0	<u>100.0</u>	0.0	0.0
		2 年	64.6	34.2	98.7	1.3	0.0
		3 年	34.4	61.3	95.7	4.3	0.0
		前期全校	56.3	41.7	<u>98.0</u>	1.6	0.4
		前期市全体	45.1	50.8	95.9	3.5	0.6
		前期 1 年	73.4	25.3	<u>98.7</u>	1.3	0.0
		前期 2 年	64.2	35.8	100.0	0.0	0.0
		前期 3 年	35.1	60.6	95.7	3.2	1.1

○「宿題を忘れずにしますか」に対して肯定的な割合は、全校で 84.6%（市全体 82.6%）であるが、3 年生が 79.3%（前期 82.4%）で、やや低い。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
12	宿題を忘れずにしていますか。	全校	40.1	44.5	<u>84.6</u>	12.1	3.2
		市全体	37.7	45.0	<u>82.6</u>	14.3	3.0
		1 年	46.7	38.7	85.3	12.0	2.7
		2 年	44.3	45.6	89.9	8.9	1.3
		3 年	31.5	47.8	<u>79.3</u>	15.2	5.4
		前期全校	36.1	51.8	<u>88.0</u>	9.6	2.4
		前期市全体	43.9	42.6	86.5	11.2	2.3
		前期 1 年	51.3	39.7	91.0	7.7	1.3
		前期 2 年	32.5	58.8	91.3	7.5	1.3
		前期 3 年	26.4	56.0	82.4	13.2	4.4

改善策	○ 本校では、「自ら考え表現し、主体的に学ぶ生徒の学力の育成」を校内研のテーマとした校内研の研究主題に設定し、言語活動の充実を図る授業づくりや、学習の習慣化を図るための課題をあげて取り組んできている。また、市の指定で中1ギャップの解消を図ることを主な目標とした小中連携教育も推進している。本年度のまとめをきちんとするなかで、研究の成果と課題を明らかにしていきたい。 ○ 各教科で作成している「学習の手引き」や授業内容・目標・評価方法を提示したシラバスの作成など、来年度に向けさらに充実させ、活用を図る取り組みを実践する。 ○ 学習の習慣化をめざし、家庭学習の充実を図る自主学习ノート「北中ノート」の指導を推進していく。 ○ 家庭での学習習慣づくりに向けて、新入生説明会やPTAの会合での説明を有効に活用する。また、生活習慣としての家庭学習を実践継続する取り組みの重点化を図り、継続できる力の養成に研究を進める。 ○ 教師集団として、生徒にとってわかる授業を創造し、生徒に楽しみのある学校としたい。そのために、授業者としての資質向上を図り、生徒理解に基づいて指導したい。校内研究の内容の深まりとしてわかる授業づくりにむけた授業力の向上を図る。
-----	---

IV 生徒指導について（児童生徒用アンケート等も含めて）

達成状況

○ 全項目で肯定的な回答が 91%を超え、高い意識をもって取り組んでいる。特に、全職員（100%）が「生徒理解のためにコミュニケーションを図っている」に肯定的である。ただ「問題行動の早期発見・早期対応」については、91.3%（前期 92.3%）で、市平均（93.5%）より低く、改善の余地がある。

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
1	あなたは、児童生徒理解のためにコミュニケーションを図っている。 (対:児童生徒)	後期本校	56.0	44.0	<u>100.0</u>	0.0	0.0
		後期市	62.7	36.0	98.8	1.2	0.0
		前期本校	70.4	29.6	100.0	0	0.0
		前期市	70.7	26.1	96.8	3.2	0.0

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
4	あなたは、問題行動(いじめ、不登校等)の早期発見・早期対応ができている。	後期本校	30.4	60.9	<u>91.3</u>	8.7	0.0
		後期市	41.6	51.9	<u>93.5</u>	5.8	0.6
		前期本校	34.6	57.7	<u>92.3</u>	7.7	0.0
		前期市	42.8	51.3	94.1	5.9	0.0

(児童生徒用および保護者用アンケートから)

○「家の人と学校での様子を話していますか」に対しての肯定的な割合は 72.6%で、市全体 (73.7%) より、低い。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
14	家の人と学校での様子を話していますか。	全校	31.9	40.7	<u>72.6</u>	21.4	6.0
		市全体	37.5	36.2	<u>73.7</u>	19.6	6.7
		1 年	32.5	44.2	76.6	22.1	1.3
		2 年	36.4	32.5	68.8	15.6	15.6
		3 年	28.0	45.2	73.1	25.8	1.1
		前期全校	40.4	31.6	72.0	20.0	8.0
		前期市全体	43.0	34.2	77.3	17.3	5.4
		前期 1 年	50.6	31.6	82.3	13.9	3.8
		前期 2 年	40.0	21.3	61.3	25.0	13.8
		前期 3 年	31.9	40.7	72.5	20.9	6.6

○「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に対しての肯定的な割合は 68.5% (前期 72.7%) だが、市全体 (54.4%) より高い。

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
16	今住んでいる地域の行事に参加していますが。	全校	23.1	45.4	<u>68.5</u>	24.7	6.8
		市全体	17.7	36.6	<u>54.4</u>	31.8	13.8
		1 年	29.1	48.1	77.2	20.3	2.5
		2 年	29.5	35.9	65.4	28.2	6.4
		3 年	12.9	50.5	63.4	25.8	10.8
		前期全校	31.6	41.1	<u>72.7</u>	23.7	3.6
		前期市全体	21.2	40.4	61.6	28.3	10.1
		前期 1 年	41.8	36.7	78.5	17.7	3.8
		前期 2 年	35.8	42.0	77.8	18.5	3.7
		前期 3 年	19.4	44.1	63.5	33.3	3.2

○「進んで挨拶をするよう指導に努めている」に対して、教師は 100%が肯定的にとらえている。「地域の人と出会ったらあいさつをしていますか」に対して生徒の肯定的な割合 (90.7%) は市全体 (85.5%) より 5.2 ポイント高い。保護者は学校がそのように指導していると思うかについては、84.6%で、市全体 (76.7%) より 7.9 ポイント高かった。また、保護者が子どもに挨拶をするように言っていると肯定的にとらえている割合 (90.1%) は、市全体 (87.6%) より 2.5 ポイント高い。

(職員による自己評価)

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
1	児童生徒が進んで挨拶をするよう、指導に努めている。	後期本校	72.0	28.0	<u>100.0</u>	0.0	0.0
		後期市	67.9	30.2	<u>98.1</u>	1.9	0.0
		前期本校	77.8	22.2	100.0	0.0	0.0
		前期市	70.9	28.5	99.4	0.6	0.0

(生徒によるアンケート)

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
18	地域の人と出会ったら挨拶をしていますか。	全校	54.0	36.7	<u>90.7</u>	7.7	1.6
		市全体	43.1	42.4	<u>85.5</u>	12.1	2.4
		1 年	55.3	36.8	92.1	7.9	0.0
		2 年	57.0	31.6	88.6	8.9	2.5
		3 年	51.1	40.2	91.3	6.5	2.2
		前期全校	56.6	36.7	93.2	6.4	0.4
		前期市全体	49.5	38.8	88.3	10.0	1.7
		前期 1 年	57.5	38.8	96.3	3.8	0.0
		前期 2 年	65.4	27.2	92.6	7.4	0.0
		前期 3 年	47.8	43.3	91.1	7.8	1.1

(保護者によるアンケート)

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率	E 率
16	学校は、子ども達に学校外でも挨拶をするように指導していると思う。	全校	20.2	64.4	<u>84.6</u>	8.7	1.2	5.5
		市全体	12.1	59.4	<u>71.5</u>	16.3	3.2	9.0
		1 年	18.5	60.5	79.0	12.3	1.2	7.5
		2 年	30.0	56.3	86.3	7.5	0.0	6.2
		3 年	12.5	75.0	87.5	6.8	2.3	3.4
		昨年全校	14.0	65.0	79.0	12.3	2.5	6.2
		昨安市全体	10.7	58.8	69.5	18.3	3.5	8.7
		昨年 1 年	22.9	61.4	84.3	7.2	0.0	8.5
		昨年 2 年	10.2	65.9	76.1	15.9	4.5	3.5
		昨年 3 年	8.8	66.2	75.0	14.7	2.9	7.4

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率	E 率
18	ご家庭では、お子さんに地域の人々と出会ったら挨拶をするように言っていますか。	全校	32.5	57.5	<u>90.1</u>	9.1	0.8	0.0
		市全体	34.1	53.5	<u>87.6</u>	10.0	2.1	0.3
		1 年	40.7	46.9	87.6	9.9	2.5	0.0
		2 年	32.9	58.2	91.1	8.9	0.0	0.0
		3 年	25.0	65.9	90.9	9.1	0.0	0.0
		昨年全校	32.2	53.5	85.7	12.7	1.6	0.0
		昨安市全体	34.1	53.1	87.2	11.0	1.7	0.1
		昨年 1 年	41.0	48.2	89.2	10.8	0.0	1.0
		昨年 2 年	29.2	52.8	82.0	16.9	1.1	1.1
		昨年 3 年	27.5	59.4	86.9	8.7	4.3	0.1

改善策	○ このような高い意識をさらに肯定的にするために、学校組織としての生徒指導部会、生徒理解部会の機能の充実を図る。また、職員会議等により学校全体で、組織として取り組んでいく意識を高める。 ○ 「地域の人とのあいさつ」は、本校を訪れる方々からお褒めの言葉をいただいている。今後も教師自らの率先したあいさつを行うことからさらに推進を図りたい。また、そのように指導していることは、保護者にも理解されている。自信を持って指導を継続する。 ○ 「家庭での会話」「家庭への配布物」での課題には、家庭での協力が得られるよう懇談会などを通してたえず協力を得ていく。さらに、家庭での生徒との話題の提供、たよりへの返信欄を設けるなどして配付を確認する取り組みを進める。
-----	--

V 地域との連携について

達成状況

○ 「地域の人材や施設を活用，地域の教育力を生かす指導」は 59.0%で市全体（74.5%）より 15.4 ポイント，「学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け，情報収集する」は 75.0%で市全体（80.5%）より 5.5 ポイント低い。

○職員が「P T A活動に主体的に参加している」は，本校は 92.0%であり，市全体 91.8%よりやや高い。

○「保護者がP T A活動に協力的」ととらえている職員は，96.2%である。

○保護者の「P T A活動への参加」について肯定的な割合は，80.6%で市全体（68.2%）より 12.4 ポイント高い。

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
1	あなたは，教育活動の中に地域の人材や施設を活用し，地域の教育力を生かす指導を行っている。	後期本校	4.5	54.5	<u>59.0</u>	31.8	9.2
		後期市	20.4	54.1	<u>74.5</u>	20.4	5.1
		前期本校	12.5	50.0	62.5	29.2	8.3
		前期市	19.6	48.4	68.0	26.1	5.9

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
2	あなたは，保護者や地域の願いに応えるため，学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け，情報収集を行っている。	後期本校	12.5	62.5	<u>75.0</u>	20.8	4.2
		後期市	20.1	60.4	<u>80.5</u>	15.1	4.4
		前期本校	24.0	60.0	84.0	8.0	8.0
		前期市	26.1	56.2	82.3	13.1	4.6

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
4	あなたは、PTA活動に主体的に参加している。	後期本校	52.0	40.0	<u>92.0</u>	8.0	0.0
		後期市	47.2	44.7	<u>91.8</u>	8.2	0.0
		前期本校	40.7	37.0	77.8	18.5	3.7
		前期市	42.1	46.5	88.6	10.1	1.3

番号	質問内容		A	B	A+B 率	C	D
			回答率	回答率	回答率	回答率	回答率
5	保護者は、PTA活動に協力的である。	後期本校	65.4	30.8	<u>96.2</u>	3.8	0.0
		後期市	53.7	42.6	<u>96.3</u>	3.1	0.6
		前期本校	50.0	38.5	88.5	7.7	3.8
		前期市	44.8	51.3	96.1	3.2	0.6

(保護者アンケートから)

	質問内容		A 率	B 率	A+B 率	C 率	D 率
20	PTA活動に参加していますか。	全校	18.2	62.5	<u>80.6</u>	15.4	4.0
		市全体	13.0	55.2	<u>68.2</u>	24.5	7.4
		1年	14.8	67.9	82.7	11.1	6.2
		2年	25.0	53.8	78.8	16.3	5.0
		3年	15.9	63.6	79.5	19.3	1.1
		昨年全校	15.7	64.5	80.2	16.9	2.9
		昨安市全体	12.2	55.4	67.6	25.2	7.2
		昨年1年	17.1	62.2	79.3	19.5	1.2
		昨年2年	15.9	65.9	81.8	14.8	3.4
		昨年3年	14.7	64.7	79.4	16.2	4.4

改善策	○ 地域の人材が活用できる教育課程の作成を進めていく。すでに、計画されている内容について職員が共通理解し、担当職員ばかりでなく関わりがもてるように進めていく。直接計画に参加しなかった教師にも関わりがもてるような教育課程としていきたい。実際のところ地域人材の活用が図れる内容がほとんどない教科もあり、総合的な学習等で関われるように計画して、地域人材の活用を推進していく。 ○ P T Aがどのように事業を進めているのかを全職員が共通理解できるように機会を持つ。P T Aが主体となるように実践しているため、全職員がなかなか「主体的」に取り組んでいるとは実感できないとは思っている。P T Aは協力的であると認めている職員であるので、P T Aが主体となる事業に積極的に参加することによって、主体的であるようにしたい。
VI 学校の特色に関して	
達成状況	○ 全項目で肯定的な回答が95%を超え、高い意識がある。「あいさつへの指導」「授業参観や学校開放日」「読書指導」「学校行事への取り組み」「発表活動への主体的な取り組み」は、100%の職員が努めたり、実施したりすることに肯定的に評価している。
改善策	○ 本校の特色としての意識をさらに高め教育活動を進める。また、さらに特色の質を高められるようP D C Aサイクルを活用して進める。
3 まとめ ＜成 果＞ ・ 教職員による自己評価では、現状に甘んじることなく、各項目についてできるだけ高い目標を設定して厳しく評価し、日々の教育活動に努めている様子が見えてきた。 ・ 本校の生徒の実態を把握でき、教育水準の向上にむけた改善策を立てることができた。 ・ 保護者が本校の教育活動を概ね肯定的にとらえているという実態を把握することができた。 ＜課 題＞ ・ 改善を図りたい内容は、ここ数年続いているように感じる。改善策の確実な実施に励み、継続により、教育水準の向上を図る。 ・ 保護者、生徒、教職員の意識にずれを感じられる項目を洗い出し、その理由を分析して、改善に向けて努力していく。	